

会 議 録

会議の名称	第1回 行田市地域福祉計画策定委員会
開催日時	平成20年8月26日(火) 開会；午後1時30分・閉会；午後3時32分
開催場所	行田市役所2階 306会議室
出席者(委員)氏名	後藤昭三委員 梅本勝博委員 小林康男委員 田島幸夫委員 保泉欣嗣委員 野原恵美子委員 今村武蔵委員 保住 要委員 峯 章夫委員 山内靖夫委員 五十幡美津子委員 小山秀子委員 新井直美委
欠席者(委員)氏名	根岸節子委員 島田悦男委員
事務局	渡辺健康福祉部長 石川福祉課長 栗本主幹 江森主査 野村主任
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委嘱状交付</li> <li>・ 委員紹介</li> <li>・ 委員長及び副委員長の互選</li> <li>・ 地域福祉計画について</li> <li>・ 市民参加の手法について</li> <li>・ 策定スケジュールについて</li> </ul>
会議資料	<p>(資料名・概要等)</p> <p>地域福祉計画策定委員会設置要綱・委員名簿</p> <p>地域福祉計画を策定します(地域福祉計画の概要)</p> <p>地域福祉計画策定イメージ図</p> <p>地域福祉計画検討内容一覧</p> <p>地域福祉計画における市民参加の手法</p> <p>地域福祉計画策定タイムスケジュール</p>
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 . 開会
工藤市長	2 . 委嘱状交付
工藤市長	3 . あいさつ
司会	4 . 委員紹介
	5 . 委員長及び副委員長の互選
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これから会議を始めるにあたり、委員会設置要綱第5条1項の規定により、委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定めるとなっている。どなたか委員長になっていただける方、あるいは、推薦いただける方はいらっしゃるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局には案はあるか。</li> </ul>
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局案をとの声があったが、それで良いか。</li> </ul>
	<委員より拍手>
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員長は、多年にわたり民生委員を務められた後藤委員にお願いしたいが、いかがか。</li> </ul>
	<委員一同拍手>
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍手でご賛同いただいたものとする。続いて副委員長は、今村委員にお願いしたいが、いかがか。</li> </ul>
	<委員一同拍手>
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍手でご賛同いただいたものとする。それでは、委員長は後藤委員、副委員長は今村委員とさせていただきます。委員長、副委員長は、それぞれの席に移動いただきたい。</li> </ul>
	<後藤委員長、今村副委員長、席を移動>
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員長からごあいさつをいただき、その後、要綱に基づき会議の進行は委員長にお願いする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要綱の定めに従い、議長を努めさせていただく。皆様のご協力をいただき、スムーズに議事を進めたい。初めに会議の公開、非公開についてだが、行田市情報公開条例により、原則公開となっている。本委員会における公開、非公開を決定する必要があるが、いかがか。</li> </ul>

委員	・ 公開で良いのではないか。
委員長	・ 公開との意見が出たが、公開でよろしいか。 <委員より、賛同の声あり>
委員長	・ それでは、本委員会は会議を公開することとする。傍聴する方がいらっしゃれば入室していただきたい。
事務局	<傍聴者はいない旨を報告>
委員長	・ 議題の(1)地域福祉計画について、事務局より説明願う。
事務局	<会議資料に基づき説明>
委員長	・ 事務局の説明に対して、質問をいただきたい。なお、この会議は、お互い気持ちよく意見を言えるようにしたい。説明を聞いたからそれで終わりではなく、わからないことは次回に持ち越しても良いので、よろしく願います。
委員	・ 資料3のイメージ図だが、市民参加が計画策定委員会の案を作成した後に来ているが、案の作成の前に市民の意見を聞くべきではないか。
事務局	・ この図からすると、出来上がった案に市民参加の意見を盛り込むように取れてしまうが、市民参加によりいただいた意見等は、作業部会において計画案の作成に生かし、その案を委員会で審議いただくことになる。つまり、策定は、市民の意見を伺ってから原案を作ることになると理解いただきたい。
委員長	・ この図では、市民参加が委員会の下に来ているが、後々残る図なので、書き直したほうが良い。
委員	・ 市民参加が一番大切なので、真ん中に持ってきたほうが良い。
委員長	・ 策定委員会より市民参加の枠を大きくしたほうが良い。真ん中に市民参加が来るように直すように。
委員	・ 説明では、市民の意見聴取があって策定原案を作り、その後市民の意見を聞くとのことだが、策定原案を作る前段階で、市民の意見をどのように聞くのか。市民の意識調査などは行うのか。
委員	・ 事務局として準備が不足しており申し訳ない。配布資料が不足していたので、この場で配布させていただく。昨年度、地域福祉計画のアンケート調査を行っている。対象は市民2,000人で、住民

<p>委員 事務局</p>	<p>基本台帳からの無作為抽出により、郵送法で実施した。なお、平成 18 年度には市民意識調査を実施しており、この 2 つのアンケートが策定準備開始前の資料となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートを行う際、地域ごとの偏りはなかったのか。</li> <li>・ 発送段階での偏りはないと思うが、回収時点においてどうかはわからない。</li> </ul>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回収率はどのくらいか。結果の信憑性にもかかわると思うが。</li> <li>・ 50 パーセントは超えている。なお、担当において確認した範囲だが、アンケートと市民意識調査にほぼ同じ内容の設問があったが、二つの調査の結果にはほとんど差がなかったことから、信憑性も高いと認識している。</li> </ul>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成年後見人制度はどのような制度なのか。</li> <li>・ 自分で財産等の管理能力がない方、例えば認知症などで判断が難しい方に代わって、後見人等が意思決定する制度のことである。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は後見人をさせていただいているので、補足させていただく。高齢者になって金銭管理が難しくなる方がいる。家族間の関係性が良くない場合、虐待につながる場合さえある。私の場合、担当している方の資金の管理をはじめ、介護施設を利用しているのでケアマネージャーさんとの調整など、最終的に亡くなるまでの管理を私が行うことになる。私がおの方の一生を決めることになるため、この方にとってどうすることが一番良いか考えている。とても大変な仕事だが、これからは長生きの時代なので必要になってくると思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉計画検討内容一覧の 「要援護者の支援方策に関すること」の説明では、災害時の要支援者のことを意味するとのことだが、要援護者とは、普段の生活の中も含めて困っている人のことだと思う。災害時だけのことではないと思うが、要援護者をどのように位置づけしているのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の計画では、災害時要援護者対策が中心となってくるが、普段の見守りなども含めることとなる。その中でも、災害時の対策に重点をおいた内容となるが、その際、対象がどの範囲になるの</li> </ul>

<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要援護者の中に災害時の要援護者が含まれるということであり、要綱も定められているが、計画の中で見直す点もあると思う。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補足説明をさせていただく。いわゆる要援護者とは、要介護の高齢者あるいは障害者をイメージされる人が多いと思うが、例えば若くても発熱などで動けなければ援護が必要な状態に変わりはなく、同じように子育て中の母親は活動しにくかったり、支援が必要であったりする。先ほどの発言は、この計画において、どの範囲の方にどんな支援が必要かを含めて考えるべきとのご意見であり、事務局としてもありがたく受け止めさせていただく。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民参加となっているが、市民の意見を聞くときに、一人ひとりの意見を聞くイメージがあるが、委員会に入っていない組織、NPO、グループなどを対象とした意見聴取が必要ではないか。実際に活動している人達は意識も高く問題もよく理解していると思うので、そういった方々にも積極的に意見を聞き取るべきである。ここに集まっている委員が全ての団体を持ち出すことは不可能なので、団体からの意見を取り入れるべきである。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体からの意見聴取の方法としては、この後の市民参加の中で説明させていただく現場インタビューで伺わせていただきたいと考えている。また、市の生活課が呼びかけて実施している市民公益活動促進のための基本方針実施計画原案策定検討委員会などを通じて計画に対する意見を反映させる仕組みにしたいと考えている。そのほかにも、何か良い手法がないか検討を重ねてまいりたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までの議論を聞いていると、私はこの議論に付いて行けるか疑問に思う。こういった大人数で議論を交わす前に皆さんが共通認識を持つ必要があるが、今まで話を聞いていると、ミクロの問題からマクロの問題まで、何かごちゃごちゃに意見が出てきている。これはいずれ整理されてくるのかも知れないが、専門用語が出て</li> </ul>

<p>事務局</p>	<p>きたりして、率直に言って理解できない状況である。こういう中で、議論を進めていくのは非常に難しいと思う。まずは、地域福祉計画策定の基本的な概念を説明してもらってから、我々が参画する部分を示してもらわないと、この議論に参画するのは難しいと感じた。少なくとも、ここにいる皆さんが同じレベルの理解はお持ちでないというのが私の印象だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門用語、横文字も多く、わかり辛い部分も多いと思う。地域福祉という言葉自体が新しいものであり、この概念自体も幅が広いために抽象的になってしまう。もともとある狭い概念の福祉とは違い、地域福祉計画の福祉は幅が広いものになり、生活イコール福祉と言えるほどであり、内容が広範なものになる。地域福祉計画は、市全体をまとめた計画である総合振興計画に次ぐものであり、その下に個々の計画である障害福祉計画や子育て、高齢者に関する計画が入ってくることになるため、計画自体はかなり抽象的で理念の部分が多くなっていく。今後、基本方針や目標が出てくると、少しずつイメージできてくると思う。今までの計画と種類が違い、策定委員の皆さんから、それぞれの立場で意見をいただき、また、市民の意見も伺い、それらを合わせた中から方向性が見えてくると考えている。基本的な概念としては、「地域の中で支えあいながら暮らしましょう」ということが大元にある。今後は、委員の皆さんが共通認識を持てるような資料作りや進め方を工夫したい。今回の計画は、地域の支え合いという目に見えないものを作る計画であり、抽象的で分かり辛いかとは思いますが、何とか良いものにしていきたいので、ご協力をお願いしたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一言で申し上げると、議論する共通の場、つまり共通の土俵がわからない。そういう点を慮ってわかりやすくして欲しい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こういう計画を作る基本は理念にあると思う。理念と目的をどこにもっていくのか。まず、理念が共通認識として皆さんにあるならばおのずと議論はそこに集約されてしかるべきだ。資料2の裏面に理念と基本目標が書いてあるが、我々も推進検討会議もこの理念と基本目標に沿って全てが処理され、確認されないと具合が</li> </ul>

事務局	<p>悪い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おっしゃるとおり、ここに掲げられている理念・基本目標に基づいて計画を策定していくことになる。先ほども申し上げたが、「誰もが生き生きと自分らしく暮らせる地域社会をつくりましょう」と言うのが、今回の計画の基本となる。横文字で表現するならば、「ノーマライゼーション」といった言葉になると思うが、「障害のある人もない人も、支援が必要な人もそうでない人も、みんなが自分の住みたい地域で暮らすことが出来る社会をつくりましょう」というのが今回の計画であり、その際の理念、基本目標がこの資料に書かれているものである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要は、この計画策定委員会の役割がどこにあるのかが、先ほどの委員の発言の意味だと思う。資料にもあるとおり、策定方針の決定や計画原案の審議などが役割としてあるが、我々委員がどこまで踏み込んで意見を述べるべきなのか理解すべきだと思う。なお、資料 4 までの説明が終わっているが、資料 5、6 についても説明してから質問を受けるほうが良かったのではないかと。タイムスケジュールには、第 2 回では進捗状況・対話集会の意見報告、第 3 回は市民参加結果報告とあるが、策定委員会の役割は単に報告を聞いて了承すればよいのか、その役割をはっきり示して欲しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後まで説明してからご意見を伺ったほうが良かったかも知れない。先ほど、策定委員会と推進検討会議は、車の両輪に例えさせていただいた。時間的な制約もあることから、基本的な作業は推進検討会議及び作業部会で行い、その内容について策定委員会で審議いただき、修正しつつ原案を作成し、計画にしていくことになる。イメージ図にもあるが、一部の委員さんには作業部会にも加わっていただき、また、市民参加の事業に関しても委員さんに協力いただきたいと考えている。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日は策定方針の基本方針の決定となっているが、ここで方針を決定するのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の資料全てが基本方針であると考えている。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我々は、市民サイドの立場で、推進検討会議等で作った原案をチ</li> </ul>

事務局	<p>チェックして、修正すべきはするという認識で良いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的にはそうなる。全ての作業を委員会ですることは出来ない ので、推進検討会議等で作業を行い、委員会で意見をいただくこ との繰り返しとなる。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私が委員を引き受けた理由のひとつとして、民生委員さんやN P O、P T Aなど、これだけの人が関わって策定するのだから、そ れぞれの意見を言えるものと思っており、単にチェックだけでは つまらないと思う。これだけの人の意見を聞けるのを楽しみにし ており、私たちの意見を聞く機会を作って欲しい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我々は策定委員であり、我々が策定の主体であり、原案や資料に 対して意見を言い、だめなら突き返すくらいでないといけない。 チェック機能もあるが、現場の意見を反映することもある。チェ ックするという受身だけでなく、我々が策定するという気概を持 つべきだと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所の視点と、市民の視点と、色々な経験を積んできている人 の視点、それぞれ見る角度が違うので、いろいろな角度から見て 原案を修正していく作業が必要だと思う。行政が作ったものは、 やはり行政からの角度になっているので、それぞれの角度から見 ることによって、見えなかったものが見えてくる。そして、奥の 深いものができると思う。私が育児や介護の現場を見ていて感 じることは、近くに実家のない私にとって、何かのときに地域や 行政に頼るしかない。そんな時に手を貸してもらえる、ほっとす る町にしたいと思い今回応募したので、自分の意見を言いたいと きは、言わせていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ほどからチェック機能だけなのかという意見があるが、決して そうではない。皆さんの立場からのご意見で、修正することは必 要であると考えている。先ほどの意見にもあったが、全ての説明 を行った上で質問を受けさせていただければ、現場の意見をどの ように吸い上げるのかという疑問も解決できたと思う。なお、今 回の計画が今までの計画と違う点は、市役所の立場からだけでなく、 現場インタビューなどで団体別や地域別にお邪魔してご意見</li> </ul>

<p>委員長</p>	<p>を伺い、推進検討会議等で作った原案を委員会で修正させていただくことなどである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の話の中でもタイムスケジュールに関係することもあるので、次第どおりでなく、(3)策定スケジュールまで説明していただいてから意見を伺うことにしたいがいかがか。</li> </ul> <p>&lt;委員了承&gt;</p>
<p>事務局</p>	<p>&lt;会議資料に基づき説明&gt;</p>
<p>委員長 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料6までの説明が終わったが、質問があれば発言願う。</li> <li>・ ワークショップを公民館で月1回計3回開催とあるが、全ての公民館で開催するのではないのか。</li> </ul>
<p>事務局 委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全ての公民館で開催する。1会場あたり3回開催する。</li> <li>・ 対話集会在8会場とあるが、何の単位で開催するのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的には公民館と同じ単位であるが、開催日程の都合からいくつかの地域を合同で開催している。</li> </ul>
<p>委員長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間に8回ということか。</li> <li>・ 15地区あるが、2地区を合同で1会場で開催している場合もあるので、8会場となっている。</li> </ul>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月以降も開催は続くのか。</li> <li>・ 本年度は9月で終了となる。次は21年度に開催することになると思う。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料3に委員会の一番下に、委員の一部が作業部会のメンバーとなり事業に参加とあるが、人数は何人くらいを考えているのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この後、作業部会にご参加いただける方を募りたいと考えている。なお、人数は決まっていない。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料2の市域福祉推進の理念と基本目標がぴんとこない。身近に感じるができないので、第2回、第3回の委員会で他市の具体的な例なども出してもらって、話し合うべきだ。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国からの資料はこうなっているのかも知れないが、我々に分かりやすい資料を作って出していただきたい。今日は基本方針の決定ではないとの認識でよいか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回、資料を作成して提出させていただくので、それに基づいて</li> </ul>

	<p>検討していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先ほどお話した作業部会に参加いただく委員さんについてだが、公募の委員さんにはできる限り参加いただきたい。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>日程が合えば、私も参加する。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員は誰でも参加できるようにしたほうが良い。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則は公募の二人にお願いして、それ以外の委員も参加できるようにして欲しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日は誰にするかを決めずに、折に触れてご案内させていただくことにしたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうしていただきたい。閉会の前に、12月の19日のシンポジウムだが、委員の方々は、できる限り参加していただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ、市民の方に多く参加していただくように工夫して欲しい。</li> </ul>
事務局	<p>7. 閉会</p>